

室内環境学会九州支部活動報告

九州支部長 榎田 尚樹（国立保健医療科学院）
事務局長 佐藤 博（長崎国際大学）

平成22年度上期の活動報告

1) 第3回支部研究発表会を下記のように開催した。

研究発表会日時：平成22年1月26日（火曜日）

会場：福岡市・アクロス福岡（大気環境学会九州支部合同開催）

特別講演 坂本和彦先生（埼玉大学教授，大気環境学会会長）

「微小粒子状物質・PM2.5の現状と課題」

研究発表会（10演題，うち室内環境学会支部会より下記の4演題）

- ・自動二輪使用者の個人曝露調査 加來知寿重（産業医科大学産業保健学部）ほか
- ・改装された大学食堂内の環境調査 尾上あゆみ（産業医科大学産業保健学部）ほか
- ・床ワックス作業者の個人曝露調査 川部季美（産業医科大学産業保健学部）ほか
- ・コンポスト（生ゴミ）処理時の臭気成分とその対策 佐藤 博（長崎国際大学薬学部）ほか

懇親会

約80名の参加が得られ，化学物質の個人曝露濃度評価，室内汚染の調査，においの問題等，幅広く空気質に関する演題に関し活発に議論が繰り広げられた。

2) その他の活動

昨年度に続き，一部の支部会員による学校薬剤師の活動支援を行った。学校薬剤師とともに福岡県内の高校において，教室の二酸化炭素濃度測定，照度測定を実施した。室内空気汚染に対しては換気を指示するなど適切なアドバイスを行った。

以前開催した福岡市薬剤師会における学校薬剤師を対象とした研修会に関連し，今夏には福岡県薬剤師会と共同で講演会を開催する予定である。